

L2sp I の新旧スペクトル比較

1.1. 弹性加速度応答スペクトル（減衰 5%）

旧スペクトルと比較して新スペクトルの方が、概ね大きくなっている。

表1 スペクトルの比較（式）

地盤種別	新スペクトル		旧スペクトル	
	周期 T(s)	応答加速度 (gal)	周期 T(s)	応答加速度 (gal)
G2	0.1≤T<0.25	$6401.95 \times T^{0.65}$	T<0.2	$3727 \times T^{0.608}$
	0.1≤T≤0.65	2600	0.2≤T≤1.0	1400
	0.65<T≤2.0	$1593.15 \times T^{-1.137}$	1.0<T	$1400 \times T^{-1.221}$
G3	0.1≤T<0.35	$4550.76 \times T^{0.65}$	T<0.35	$2840 \times T^{0.608}$
	0.35≤T≤0.8	2300	0.35≤T≤1.1	1500
	0.8<T≤2.0	$1784.60 \times T^{-1.137}$	1.1<T	$1686 \times T^{-1.221}$
G4	0.1≤T<0.35	$3561.46 \times T^{0.65}$	T<0.5	$2439 \times T^{0.608}$
	0.35≤T≤1.1	1800	0.5≤T≤1.2	1600
	1.1<T≤2.0	$2006.02 \times T^{-1.137}$	1.2<T	$2000 \times T^{-1.221}$
G5	0.1≤T<0.35	$2572.17 \times T^{0.65}$	T<0.65	$1819 \times T^{0.608}$
	0.35≤T≤1.6	1300	0.65≤T≤1.5	1400
	1.6<T≤2.0	$2218.34 \times T^{-1.137}$	1.5<T	$2297 \times T^{-1.221}$

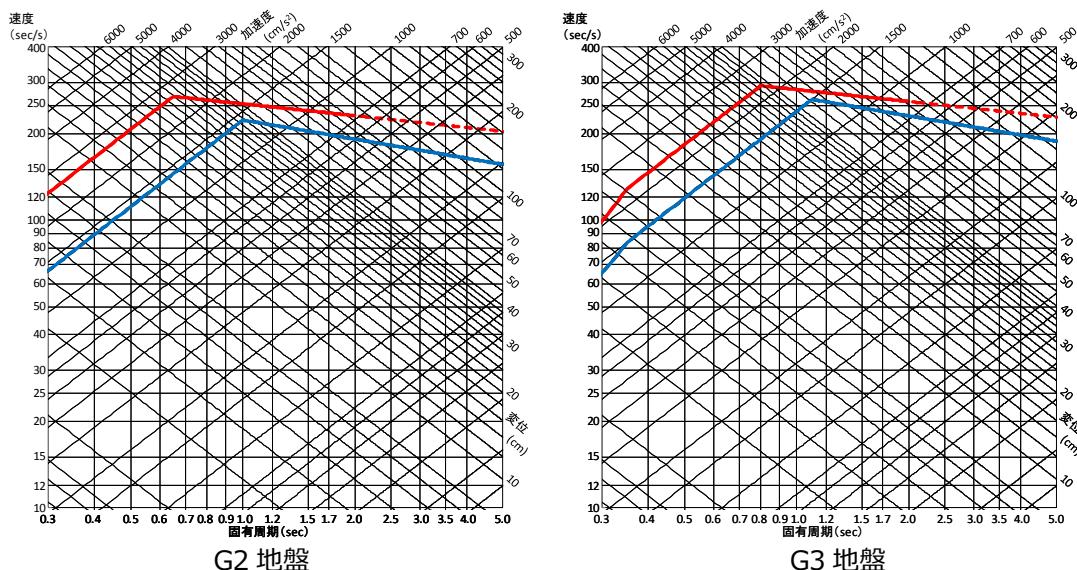


図1 スペクトルの比較（トリパタイト1）

青：旧スペクトル、赤：新スペクトル

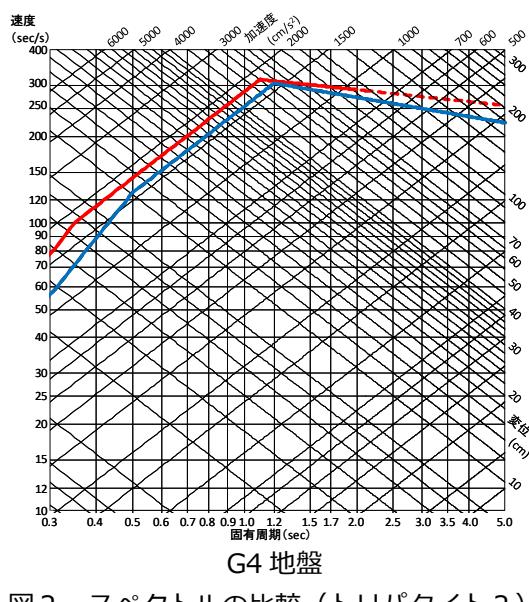


図2 スペクトルの比較（トリパタイト2）
青：旧スペクトル、赤：新スペクトル